

まえがき 3

「常識」のズレについて

第一章

「まともな人」とはどういう人か

22

- 河合隼雄氏、橋本治氏、神津かんなさん 22
 いまの日本は中高年の男子に問題が生じている 25
 『君のひとみは一〇〇〇〇ボルト』がまともな日本語か 25
 歌詞の意味より特攻隊の意味を問うてほしい 28

なぜ日本人は宗教に無知、無分別なのか

32

- 政治に無関心の私が靖国問題に関心を持ったわけ 32

- 解剖体慰霊祭は憲法違反という投書が届く 35
 二百五十年も続く解剖体慰霊祭の意味 38
 国が戦死者を祀るのは加害者だからである 40

日本と中国の部族性の違いについて

42

- 私が臨床医ではなく解剖医になつた理由 42
 中国の為政者は文化大革命の犠牲者をどう思うのか 45

- 靖国参拝は首相の踏み絵として機能している 48
 死者を人と見なさないのは日本の特異な原則 48

金欲というメタ欲望を抑える方法

52

- お金とは可能性への欲望だから際限がない 52
 戰争の背景には漠然とした不安があるはず 55
 平穏な精神は平穏な身体から生まれる 58
 身体という無意識の声が聞こえないのが現代社会 60

心こそ人類が共有するものである

63

ユダヤ系米国人とイスラエル人という二重構造
相手が国の体をなしていないと人民戦争になる
被害者という理由ですべてを正当化していいのか
人の心がわかる心を教養という 71
67 63
69

「学問」のズレについて

「大学へ行くと馬鹿になる」の眞の意味

74

学習とは知覚と運動がループする文武両道である
乳幼児に動画を見せるのは学習にあらず 74
座って勉強しても教養は身につかない 77
学問は情報を扱い、教育は生きた人間を扱う 79
82

カブトムシの角はなぜ大きいのか

84

解剖のいちばん面倒なところとは 84
議論が長いのは文学部と理学部と経済学部 85
大学で教えるべきは「知識」より「智慧」である 85
東大出とはカブトムシの角にすぎない 90

87

見つかるものはいずれ見つかる

94

そもそも学問のオリジナリティーとは何か 94
自分だけのものとは「心」ではなく「身体」である 96
臓器移植を殺人というのは脳中心主義だから 98
「メンデルの法則」はメンデルの死後に発見された 100

どんな情報も意味がなければすぐに消える

105

ダーウィンの自然選択説はなぜ生き延びたか 107
私はすべての統一理論を信用しない 105

69

チーターの足が速くなつた理由…………… 109
一神教は歴史上最も古い統一理論である…………… 112

第3章 「教育問題」のズレについて

いまの子どもは教育を受ける動機がない

教育とは水と餌とねぐらを自分で探させること…………… 116

安い石油によつて世界中で都市化が進行した…………… 118
都市は籠の中だから子どもはゆつくり育つ…………… 118

若者が働くか遊んでいても怒る理由がない…………… 121

教育は教える側の個人的責任

間違つた教科書なら教師が訂正すればいい…………… 126

検定こそ教師の本質的手抜きを奨励している…………… 126

倫理とは個人に属するものといった大江健三郎…………… 129
歴史問題で右往左往する必要などまったくない…………… 132

教育は中立であるべきである

137

検定制度がなぜ国内外で政治問題となるのか…………… 129
文部科学省は余計な口出しをすべきでない…………… 140
教科書への墨塗りはたいへんよい教育だつた…………… 142
すべては国でなく人のする行為なのである…………… 145

少子化の根本原因とはなにか

147

保育園児を虫捕りに連れて行くのが私の趣味に…………… 150
多くの人が子どもはいらないと思っている…………… 152
自然を消した世界に子どもは存続できない…………… 154
子育てについての実証的な研究が欠けている…………… 154

教養とは「身につける」ものである

157

- 目的のない組織が順送りの人事をする
人生諸事万端すべて学ぶ基本は反復練習である
個性があるのは身体で頭にあるのは共通性だ
「私は個性を持つ」と信じている人に教育の効果はない
159
161
157
164

子どもの犯罪は親の責任なのか

167

- 「親は引き回しのうえ、打ち首」発言の問題点
高いところで子どもを育てるのは危険である
戦後の日本は子どもの都合をいつさい無視してきた
わが貧乏国の資源は子どもしかないじゃないか
167
170
161
159

第4章 「政治」のズレについて

小泉首相の誕生は世間の変質を意味していた

178

- 日本型の組織はほとんどすべてが派閥である
東大医学部の選挙で実質的に干された話
田中眞紀子外相と外務省の衝突はなぜ起きたか
村という共同体が都市化により「勤め先」に移行した
180
178
182
174
186
188
188
186

「ああすれば、こうなる」が現代政治の元凶

188

- 都市で取り上げた税金を地方に回すのが常識か
小泉首相が利益誘導型政治に反対した理由とは
医師会の問題は診療報酬の議論ばかりするところ
他人から解答をもらおうとせず自分で考え続けよ
196
193
191
188
188
186

「国益」も「反米」も「親米」も嫌いである

198

- 集団というものをとにかく私は信用しない
爆弾を落とせばテロが終わるとは思えない
「いつの」「だれの」益かを明確にしてもらいたい
人間には誠実な人と不誠実な人がいるだけ
200 198
203
202

「外交問題」のズレについて

第5章

中国という大国をどう捉えるか

210

- 不景気を他人のせいにして済むわけではない
中國の近代化による環境問題の影響は大きい
中國が発展しているとき日本は鎖国していた
中國はわれわれの考える国家とは違う
218
216 213 210

「外務省の利害」と「国の利害」

220

- なぜ田中貞紀子外相の更迭が問題化したのか
「今日の仕事は昨日の通り」はまともな仕事ではない
日本の外交は外務官僚の都合優先で決まる
わが国の「衰退」は若者の仕事を老人がやるから
224
226
223

「官僚共同体」が国を誤った

230

- 瀋陽総領事館の事件については中国に理がある
日本では勇気が死語になつたことが証明された
日本共同体は加入者の資格にきわめてやかましい
「オウムは日本人じゃない」とどうしていえるのか
232 230
233
234
246
241

武力行使のない戦争は存在する

241

- 「相手の用意した食べ物を食べない」の重要な意味
いまの北朝鮮外交は実質的には戦争ではないか
246
241

団塊の世代は戦争を知らないのに攻撃性が高かつた……………
北朝鮮問題自体が戦争の総決算である…………… 249

私は死ぬまで「たつた一人の戦争」を続ける

他の国にもアメリカの大統領を選ぶ権利を…………… 251

日本がアメリカの州になれば日銀も首相もいらない……………
アメリカ人がまじめなのが迷惑のもとである…………… 254

アメリカという国家など人の世の約束事に過ぎない…………… 252

第6章

「原理主義」のズレについて

原理主義は滅びず戦争もやまない

262

私が「脳化社会」という言葉を創案した理由…………… 262

世界貿易センタービルは脳化社会の象徴といえる……………
原理主義とはある面で徹底的な便宜主義である…………… 266

正義を信じるかぎり戦争はやめられない…………… 270
…………… 268

テロはアメリカ文明の自作自演

272

B型肝炎もエイズも旅客数と比例して増加した……………
世界貿易センタービルは「デス・スター」なのか…………… 272

テロはアメリカ文明という秩序の破壊を試みた…………… 275
…………… 278

私がいちばん知りたいことは日本人のホンネ…………… 268

テロに遭つたらどうするか

282

喧嘩両成敗はほんとうによく考えた平和政策……………
なぜ平和主義者は人気がないのか…………… 284

暴力を理解することがいいことか決めかねている……………
飛行機が全部落ちれば航空テロも事故もなくなる…………… 286

288 286

247

戦争もテロも心身症である

293

- ソ連のアフガン侵攻はCIAのワナだった可能性
アメリカこそ世界最大のテロリスト国家なのか
人は脳という都市と身体という田舎を抱えている
現実とは脳が作り出す物語に過ぎない
300
296
298
293

「環境問題」のズレについて

第7章

虫捕りの敵は田舎の舗装道路

304

- 捨てるような虫をなぜ欲しがるのか
いまは天国だが天国には虫があまりいない
山奥に道路を作るのが地元の権益になるのか
林道を舗装すると森の中にゴミが捨てられる
304
307
312 309
316

日本の自然のどこがどう豊かなのか

314

- もともと本州はいくつもの島に分かれていた
マイマイカブリを調べると地方の区分がわかる
現代社会は区分を「消す」方向に動いてきた
後世に日本列島の自然を書き残す義務がある
314
314
319
316

地球温暖化論は政治でなく科学の問題

324

- 炭酸ガス排出規制はまさに政治問題
馬鹿でもわかるものを科学という
現代社会は「ああすれば、こうなる」と考える
なぜわれわれは未来を予測できないのか
324
326
321
329
332

あとがき（中公新書版）

336 334

あとがき（中公文庫版）